

# 競争よりも日常の幸せ 市民の皆さんと実現へ

市長 越田 謙治郎

全国の自治体で、人口減少対策として策定している総合戦略。川西市では、人口の獲得競争ではなく、市民の皆さんをまず大切にすることで「誰もが何気ない日常に幸せを感じるまちづくり」を実現するために戦略を策定しました。

川西市は、昭和40年代に大型団地の開発が始まり、住宅都市としてまちづくりを進めてきました。人口減少や高齢化という大きな社会の変化の中で、新しいデザインを描いていきたいと考えています。

しかし、行政だけで実現することはできません。実行していく段階でも市民とともに進めていくことを大切にしたいと考えています。

今後も市の動きに注目いただくとともに、実現に向けて皆さんの力をお貸しください。



3年後の「かわにし」を創る指針 — 第2次総合戦略を策定

# かわにしの良さを 大切にすること

問い合わせ：政策創造課 ☎(740)1120

日常の幸せのために  
何ができるか考えました

まちを挙げて考え抜いた  
3年間の取り組み

4月から新年度がスタートし、市でも新たな事業が始まります。令和2年度から3年間で取り組む「第2次総合戦略」は、かわにし市民会議に参加した市民163人の提案と有識者などからの意見を踏まえて、取り組む内容をまとめたものです。

「市民とともに歩むまちづくり」を基本に、子育てや市民活動の支援、防災・防犯、魅力発信などの分野で展開。方向性と具体的な取り組み内容を示しています。

市民だからこそ感じる  
思いを事業に反映

戦略には、市民の皆さんからいただいた声を一緒に掲載しています。

「若年層の転入者が増えていくため、子育て世帯が利用しやすい公園が必要」「仕組

みがあれば、シニア世代がより活躍できる」「住みやすいと感じる一方、市の魅力を紹介できない市民が多い」など、市内で暮らすからこそ感じる課題やそれに対する意見を反映。取り組む理由が分かりやすいように構成しています。

策定から実現へ  
毎年の検証と協働が鍵

戦略は毎年進捗を確認し、学識経験者や市民の皆さんとの検証を行います。また、市民の皆さんと検討することで効果的に実施できる事業については、新たに「(仮称)かわにし協働プレーヤー」として協力する市民と共に取り組めます。

総合戦略の進捗や「(仮称)かわにし協働プレーヤー」など戦略に関わる動きなどは、広報誌や市ホームページなどで紹介予定です。

### Check

総合戦略の全文は市ホームページに掲載しています



### かわにし市民会議

無作為抽出で選ばれ、参加を希望した市民163人が意見を提案

### タウンミーティング

市内7カ所で開催し、延べ204人が参加。市長と意見を交換

### パブリックコメント

総合戦略(案)について意見を募集し、内容に合わせて加筆・修正

### 第2次 川西市総合戦略 開始

### 進捗を確認

学識経験者や市民会議参加者を含めた市民などと検証

### (仮称)かわにし協働 プレーヤーとの協力

市民との検討が効果的なものを、市民会議参加者を含めた市民と検討

2023.3

2020.4

2020.1

2019.12

2019.4

Pick Up  
次のページ  
で紹介

### 第2次総合戦略に記載されている 主な事業の一例

- ▶母子健康手帳と併用できる新たなスマホアプリを導入
- ▶子育て世帯が交流でき、相談に対応する「**地域子育て支援拠点**」を全ての中学校区に開設
- ▶令和2年4月に**保育施設を新規開設**し、同年度中に認定こども園の保育定員を増員
- ▶留守家庭児童育成クラブの開所時間を延長
- ▶**学校運営に地域の声**を積極的に生かし、学校運営協議会を実施環境が整った学校から導入
- ▶市内の自然や歴史を活用した**体験学習の充実**を図り、自然災害から生命を守るため、**防災教育**を実施
- ▶いじめや不登校、虐待への早期解決を図るため、**スクールソーシャルワーカー**を各中学校区に1人配置
- ▶**不登校支援**の充実のため、適応教室の相談員を増員
- ▶ICTを活用した子どもの**見守り体制**を、保護者や地域住民と協力して進める
- ▶市民と活動団体などをマッチングする「(仮称) **地域**

- 人材マッチング制度」を検討し、開始
- ▶**コワーキングスペース**の運営補助など、雇用に関する支援を実施
- ▶「市障がい者雇用・就労推進本部」を設置し、**障がい者の就業機会の拡大**に取り組む
- ▶市民主催のイベント実施にあたり、規制の緩和や手続きの簡素化、助成金の交付などの**支援体制**を構築
- ▶市内を3つのエリアに分けた**防災マップ**を作成
- ▶市民が救命処置を行えるよう**市民救命士制度**を新設
- ▶空き家の流通・利活用を促進するため、所有者と希望者をつなぐ**空き家マッチング制度**を導入
- ▶大和地区で**オンデマンドモビリティ**の実証実験を実施
- ▶官民連携による**シェアサイクル**や**グリーンスローモビリティ**の導入を進める
- ▶**特産品**の商品開発などに官民連携で取り組む
- ▶本市出身の**著名人**や民間事業者に、市の取り組みや魅力を発信してもらう制度を創設
- ▶「**清和源氏発祥の地**」を市内外へ広く周知
- ▶誰もが手軽に入手できるように、**情報の発信方法**を改善